



福岡医発第 1542 号 (地)
令和元年 9 月 9 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

日本医師会ORCA管理機構株式会社における日医標準レセプトソフト (日レセ)
の今後の対応について

今般、日本医師会より別紙のとおり通知がありましたので、ご連絡いたします。

本件は、2002 年から無償公開を行っておりました「日医標準レセプトソフト (ORCA)」について、保険請求基盤として今後も維持発展させていくため「商用版」へ移行し、商用版パッケージ利用料として有償化することをお知らせするものです。

詳細につきましては、日本医師会ORCA管理機構株式会社 (以下「ORCA管理機構」) より対象となる会員ユーザーへ改めてご案内されることになっておりますが、本会では、10 月 26 日 (土) 開催の「医療情報講演会」(令和元年 9 月 9 日付け福岡医発第 1541 号 (地)) において、ORCA管理機構の上野社長より日レセの有償化についてご説明いただくこととしております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、医療情報講演会への貴会担当理事のご出席並びに貴会会員への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医療情報システム担当理事 田中泰之
会長 島田昇二郎

令和元年 7 月 26 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会
会 長 横 倉 義 武

日本医師会ORCA管理機構株式会社における日医標準レセプトソフト（日レセ）
の今後の対応について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より日本医師会会務運営に際しご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

日本医師会ORCA管理機構株式会社（以下、ORCA管理機構）は、平成 27 年 12 月に本会と株式会社地域経済活性化支援機構（以下、REVIC）の出資の下、設立されました。設立に際しては、会内委員会からORCA事業の「クラウド化」や、費用に対する「受益者負担」や、「外部事業体」での継続・発展について提言をいただきました。また、議論に際しては、当時、会員の先生方から、会員の一部である日レセユーザーのためだけに会費を使うことの是非、開発や営業活動にかかるコスト等、多額のコストをこのまま見過ごすことが出来ないという厳しいご意見、ご指摘をいただくとともに、ORCA事業がレセコン全ての市場価格を大幅に下げ、多くの会員がメリットを享受しているのではないか、というご意見をいただく中で、外部事業体として活動を開始いたしました。このようななか、日本医師会は、日レセやその他ソフトに対する開発・保守・サポート、認定事業所にかかる業務、並びにその他ORCA事業に必要な業務に対する業務委託契約を締結し、ORCA管理機構の事業支援を行ってまいりました。

ORCA管理機構では、これまでの院内設置型の日レセは、従来どおり無償提供とし、新たに用意したクラウド版に電子カルテ等を接続した場合に課金をおこなう、という事業計画で進めてまいりました。しかしながら、現状、クラウド版の普及が進んでいないこと、また、日レセに接続する電子カルテは増えておりますが、その多くが無償提供されている院内設置型の日レセを利用していることにより、現在の延長線上で事業を進めていても、今後のORCA事業の運営への貢献が極めて厳しい状況となってまいりました。

日本医師会は、このような現状に鑑み、第 3 回理事会（令和元年 6 月 18 日開催）におきまして、「院内設置型の日レセについて、オープンソースの考え方を崩さずに周辺部分のサービスに関する有償化」の措置の実施について議論を行い、承認を与え

たところでは。

ORCA管理機構では、日医オープンソースライセンスに基づき無償提供されている日レセのプログラムコード以外に、実際に実務で使えるようにするための全てのサービス（地域公費／各種帳票／他社製マスタ類／動作検証／セキュリティ対応／オルカサポートセンター／マニュアル類 等々）をORCAの販社や電子カルテメーカー、ならびにユーザーに提供しています。今回、理事会において承認を与えた有償化の考え方は、先述の「日医オープンソースライセンスに基づき無償提供されている日レセのプログラムコード」以外の周辺部分について有償化するということです。

詳細につきましては、ORCA管理機構より改めてのご連絡もしくは対象となる会員ユーザーへのご案内とさせていただきますが、現在、ORCA管理機構では周辺部分をパッケージ化し、商用版として提供するという方策を進めています。時期に関しましては、別表にお示しする予定で本年10月を目途に、現在準備を始めているところです。

今回の措置に関しましては、ORCA事業を保険請求基盤として今後も維持発展させていくため、持続可能な体制づくりへ向けた措置と考えておりますので、貴会におかれましても本件についてご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後は、医療介護連携のみならず、医療保険のオンライン資格確認やキャッシュレス化の進展、AIを活用した診療支援など多岐に亘る施策への対応が急務となっています。

日本医師会は、ORCA管理機構を通じ、レセコンを中心とした医療機関向けの統合的なICTポータルを構築していくべくサービス強化に向けた取り組みを進めてまいります。

そのためにも、①日レセクラウド版利用者の増、②ORCA事業と親和性の高い新たな付加価値サービスの提供、③各種サービスを統合的に利用出来る医療機関向けICTポータルの構築、など、ORCA管理機構での地道な事業展開を進めなければならないと改めて考えているところであります。

つきましては、改めて今回の措置につきまして、ご理解いただきますとともに、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬具

別表：日医標準レセプトソフト商用版パッケージ導入スケジュール

	2019年					2020年	2021年
	8月	9月	10月	11月	12月		
ご利用ユーザーへの 周知・ご説明						(随時継続)	
商用版パッケージ利用料※ 申込手続			2019年10月～12月				
徴収開始						(クラウド移行促進活動) 2020年1月～	

※商用版パッケージ利用料（クラウド版では免除）

- ・日レセを実務で使えるようにするためのサービスやマスタ
 - ・利用料（診療所会員価格）：月額2,500円
 - ・利用料（病院会員価格）：月額5,500円
- （院内設置型の新規導入の方も2020年1月より同様）